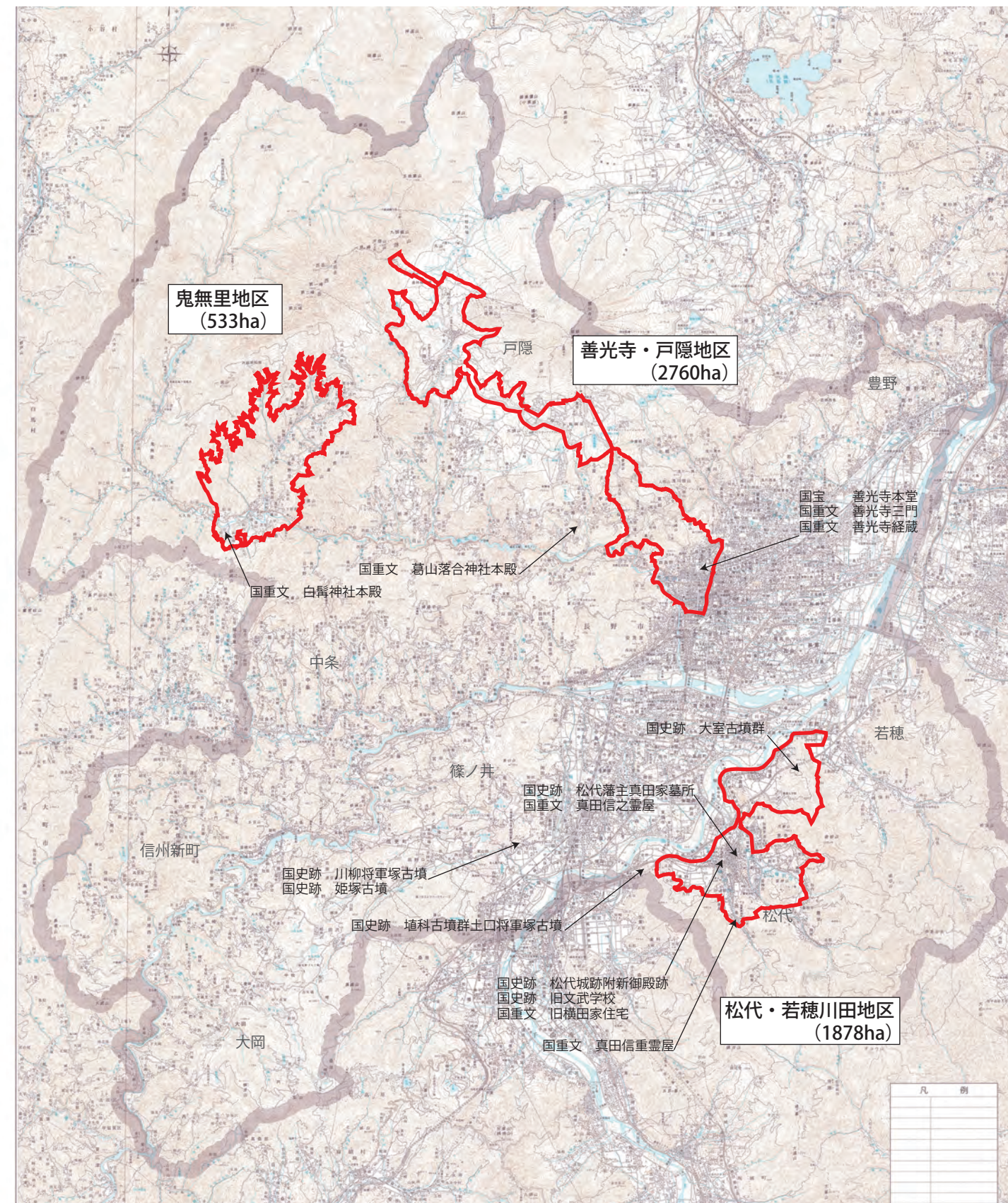


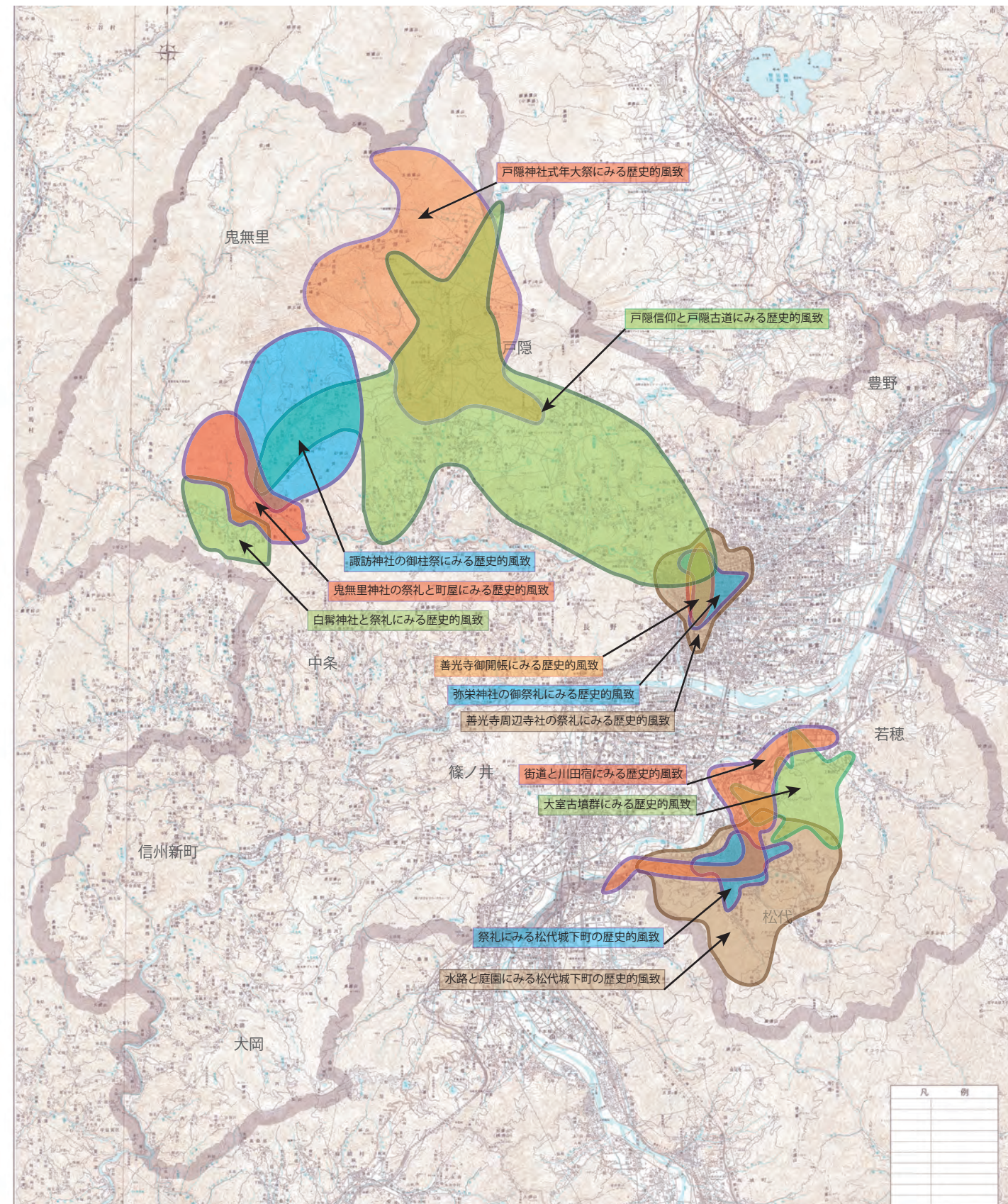
長野市歴史的風致維持向上計画における重点区域（素案）



- ・文化財課
- ・まちづくり推進課

※これは、あくまで現在検討中の重点区域であり、今後開かれる協議会等を経て決定していくものである。

長野市にみえる歴史的風致



善光寺周辺および戸隠の歴史的風致と重点区域の設定

善光寺周辺は、国宝善光寺本堂を中心に、本坊、宿坊、仲見世などの伝統的建造物がたち並び、善光寺御開帳をはじめとした様々な伝統行事や祭礼がくりひろげられている。また、奥社・中社・宝光社を中心とする戸隠は、標高 1200m をこえる緑豊かな自然環境のなかで、戸隠神社と大きな茅葺屋根をなす宿坊景観を舞台とし、式年大祭をはじめとした伝統的な祭礼が受け継がれている。さらに、善光寺と戸隠をむすぶ道は、かつて信仰の道として多くの参詣者が往来した古道で、現在では、トレッキング道として多くの人々が行きかっている。そして、これらが一体となって良好な市街地の環境が保全され、他に類をみない歴史的風致を形成している。

戸隠神社の変遷と式年大祭にみる歴史的風致



奥社の杉並木



太々神楽



獅子神楽



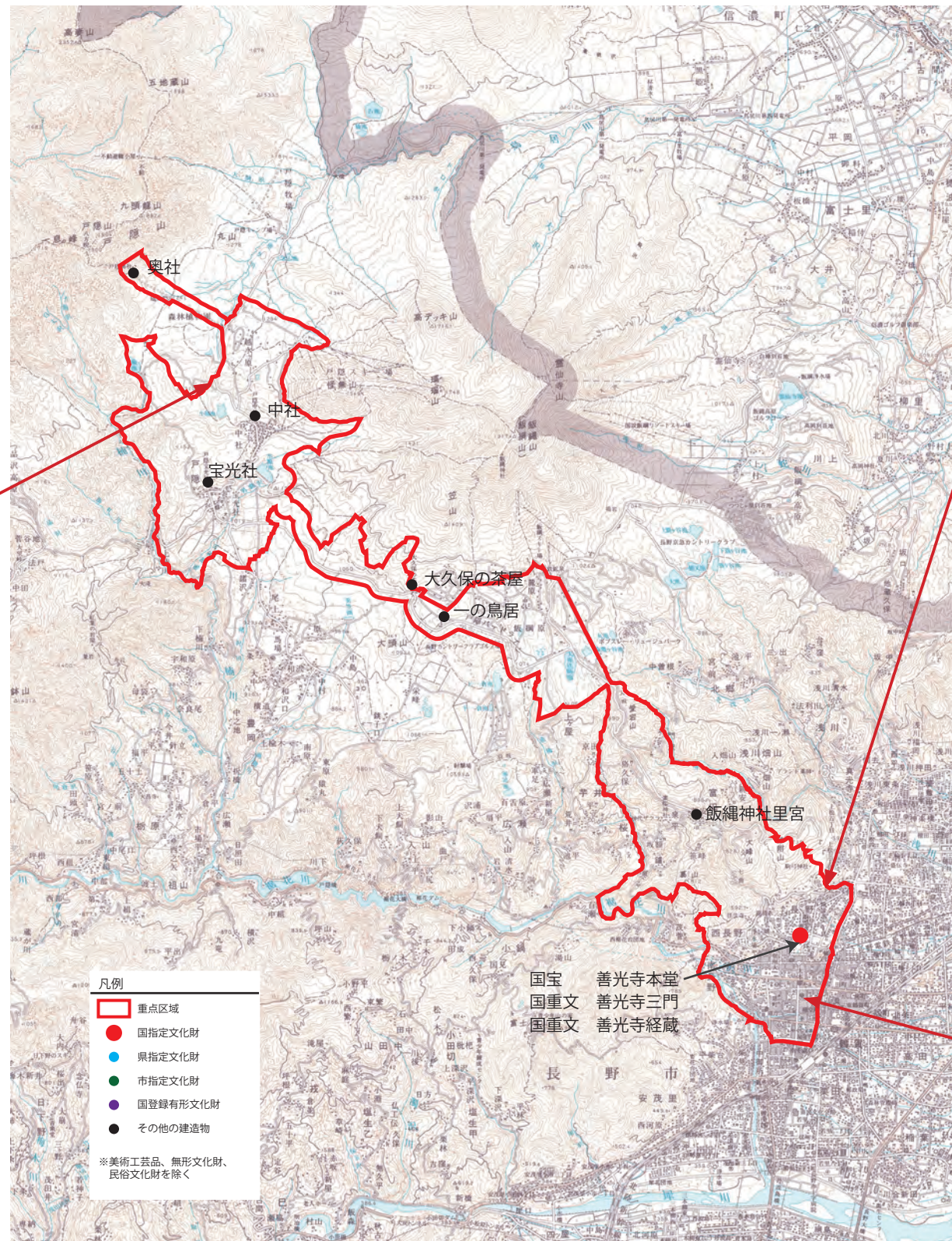
宿坊極意神殿



柱松神事



御輿渡御



善光寺御開帳にみる歴史的風致



回向柱の建立



前立本尊御遷座



中日庭儀大法要

弥栄神社の御祭礼にみる歴史的風致



天王下ろし



屋台巡行

松代・若穂川田の歴史的風致と重点区域の設定

長野市南部の松代では、北を千曲川、南を急峻な山々に囲まれた範囲に集落が営まれている。松代城跡を中心に南へ広がる城下町には、江戸時代の藩校や武家屋敷、寺社が現存しており、祇園祭をはじめとした様々な祭礼や伝統行事が行われている。また、武家屋敷地を流れる水路は、庭園の泉水（池）だけではなく生活用水としても利用されている。さらに、城下町と北国街道脇往還（松代通り・谷街道）でつながる若穂川田には、松代藩領川田宿がおかれ、宿場の地割りや秋葉社、本陣の建造物が現在まで残されている。くわえて、東部山地には、東日本最大級の積石塚古墳群である大室古墳群があり、地元の熱心な保存活動により約 500 基の古墳が現存している。これらの城下町や街道、古墳群などの重層的な史跡などが一体となって良好な市街地環境が形成されている。

松代城下町 にみる歴史的風致



武家屋敷地を流れる水路



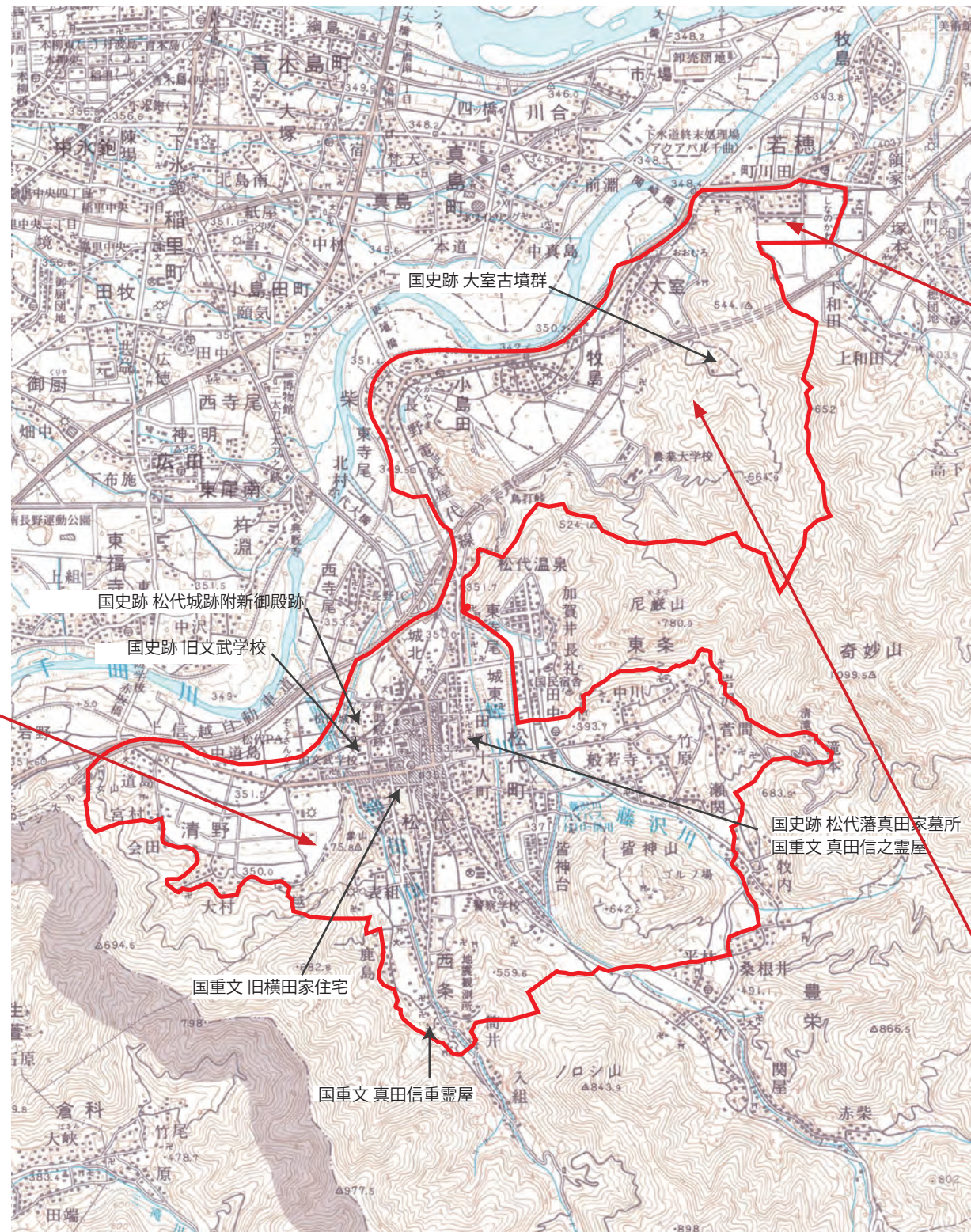
新御殿跡（真田邸）の庭園



松代天王祭図巻 (伝三村晴山筆)



松代城跡における大門踊り



街道と川田宿にみる歴史的風致



秋葉社



川田宿のまちなみ

大室古墳群にみる歴史的風致



大室古墳群保存会の清掃活動



大室古墳群（244号古墳）



発掘調査に向かう一行
(昭和 20 年代)

鬼無里の歴史的風致と重点区域の設定

長野市の北西部、戸隠地区の西部に位置し、裾花川上流域の鬼無里盆地を中心に広がる中山間地の地区である。川沿いの沖積地と河岸段丘の平地、大部分の面積を占める山地とで構成され、近世から近代にかけて、麻の栽培が盛んに行われ、畳表の畳縦糸が生産された。遷都伝説、紅葉伝説や木曾義仲に因む伝承、奥裾花溪谷（県名勝）やミズバショウの大群落を有し、豊かな自然環境とともに特色ある地域を形成している。鬼無里地区では産土神である白髭神社を核とする祭礼と交易拠点としての町区のまちなみと祭礼等の活動が継承されている。そしてこれらが一体となって良好な集落地の環境が形成され、固有の歴史的風致を生み出している。

白髭神社の祭礼にみる歴史的風致



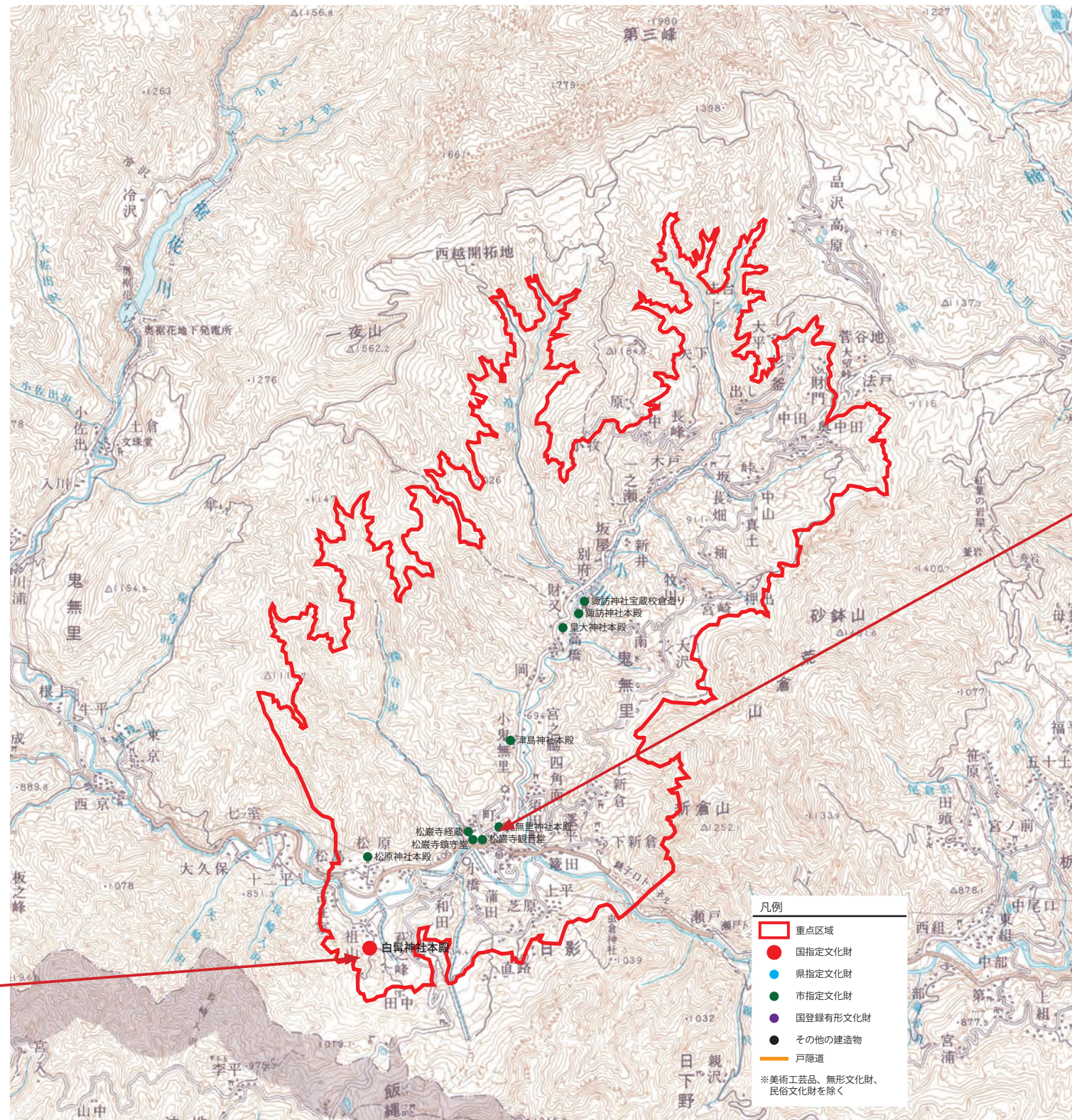
白髭神社本殿



白髭神社神楽



白髭神社の祭礼



鬼無里神社の祭礼と町屋にみる歴史的風致



切妻出梁造の町屋

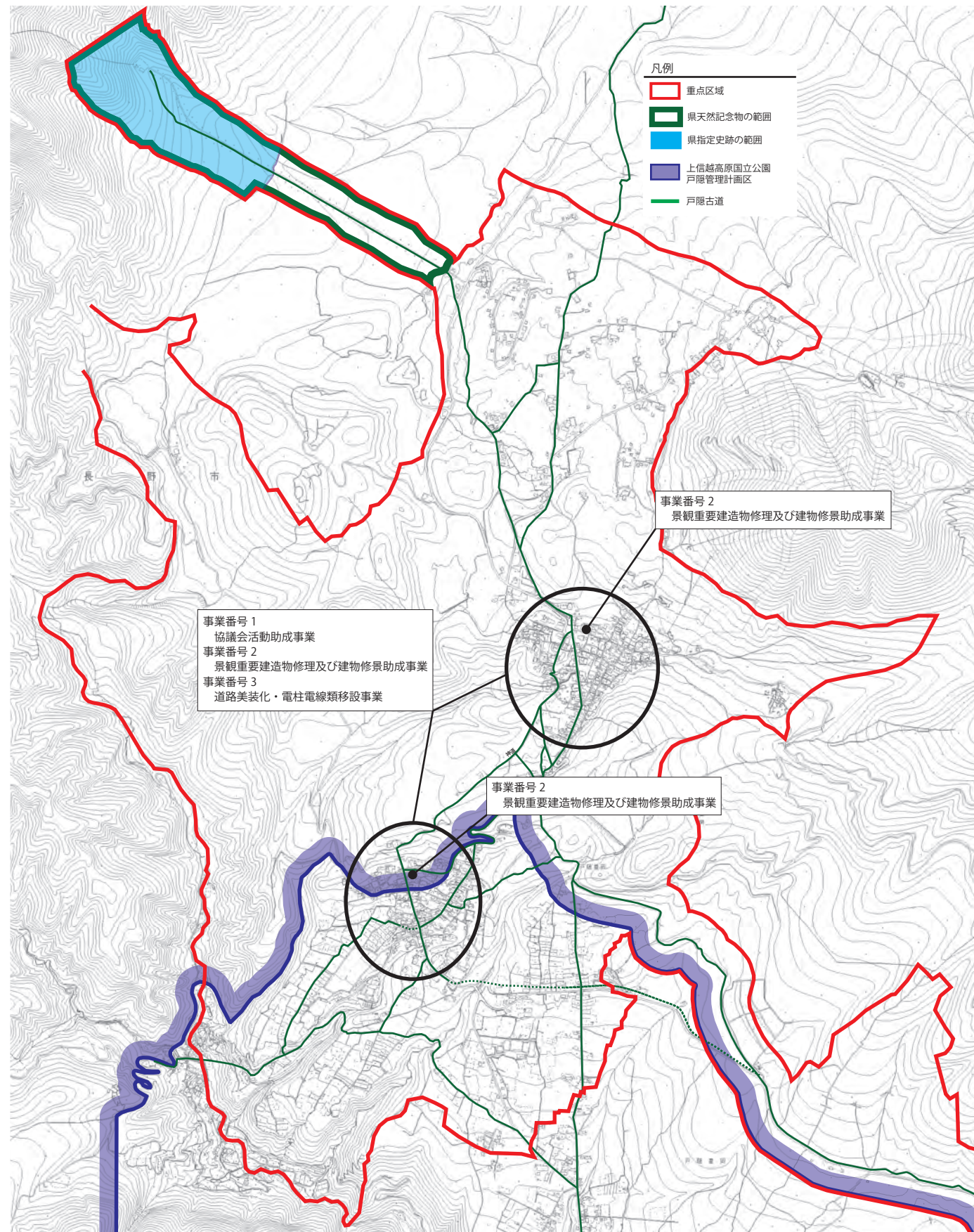


切妻造の町屋

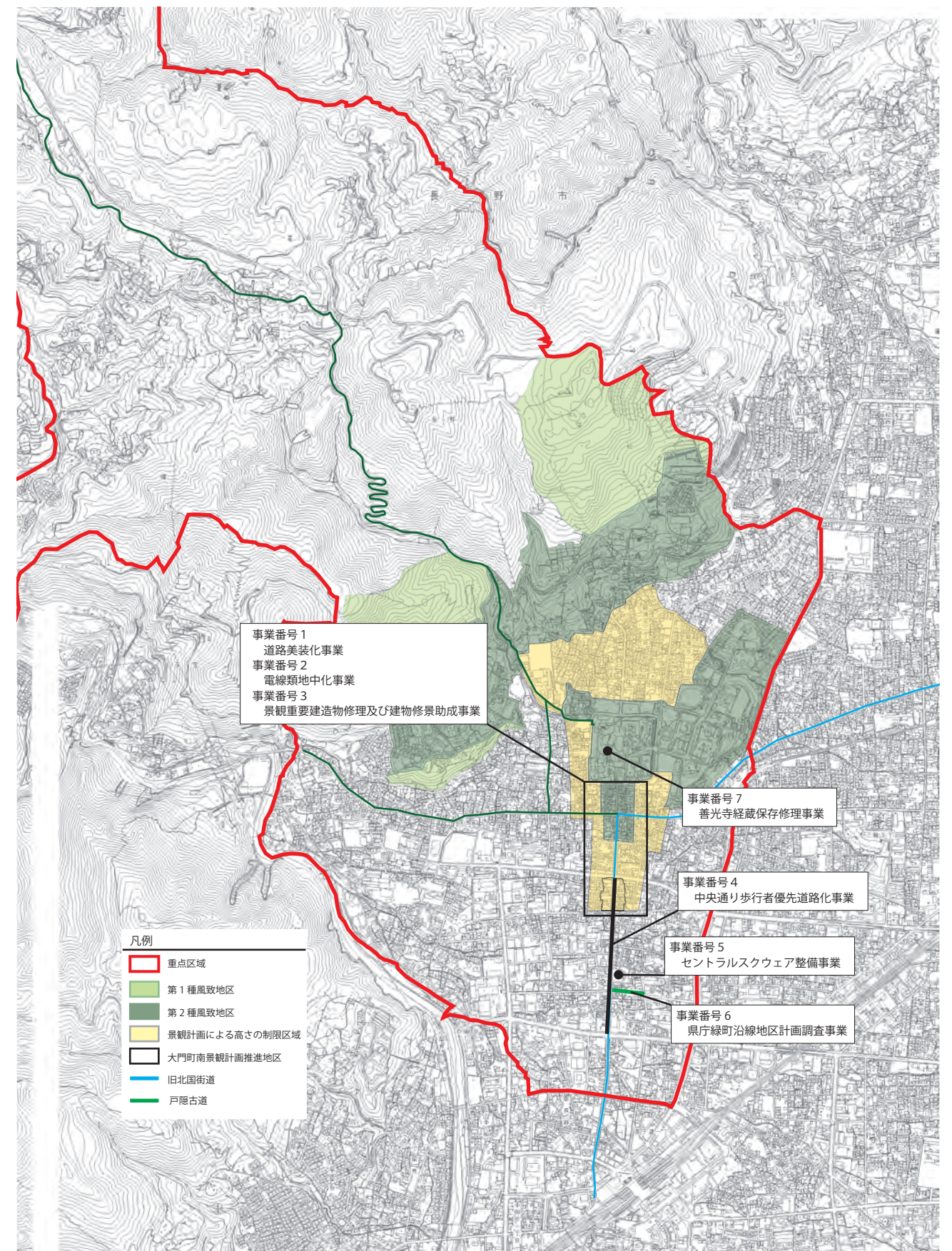


鬼無里神社春祭りの屋台巡行

歴史的風致の維持向上に資する事業（善光寺・戸隠地区）

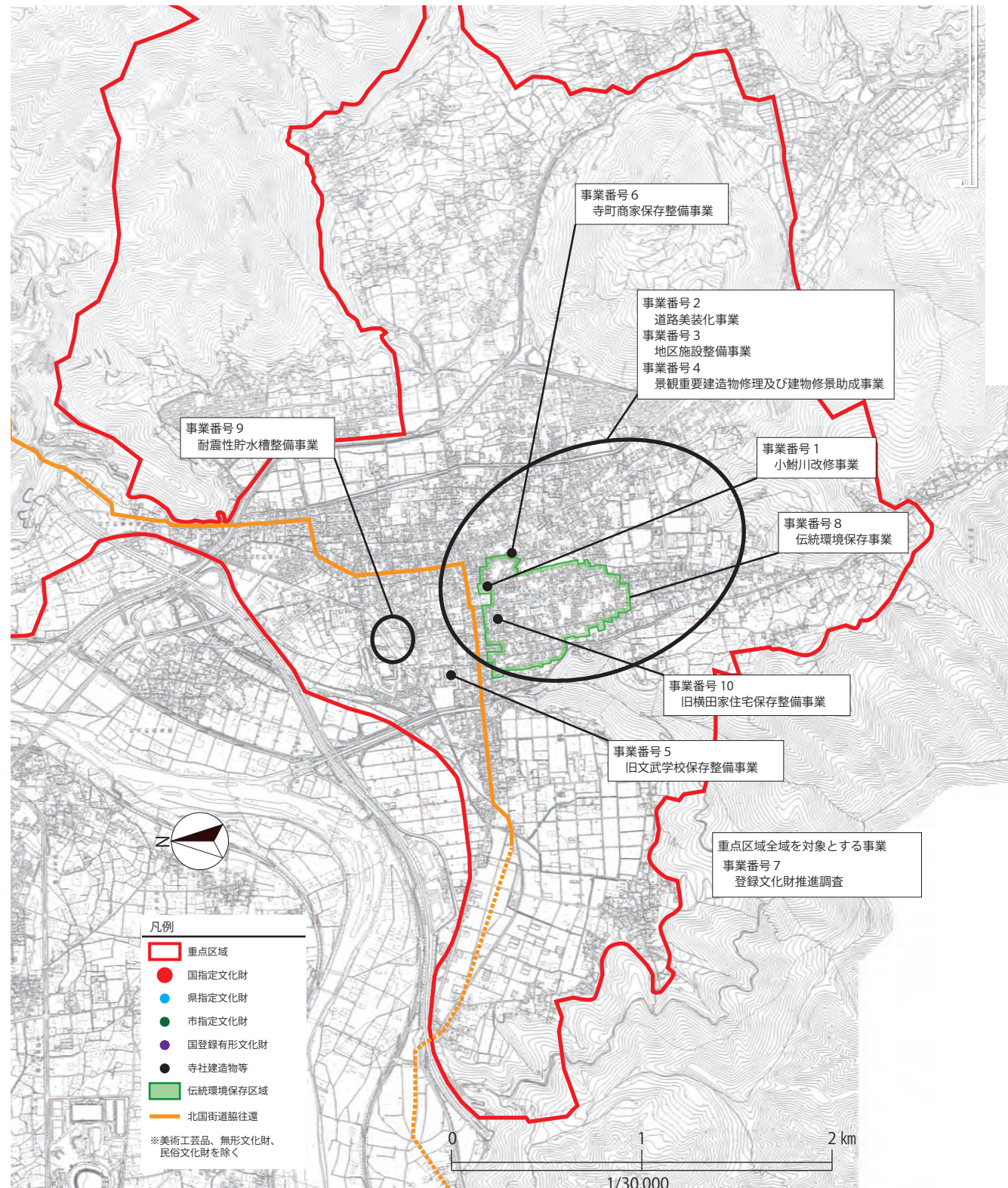


戸隠地域周辺の事業

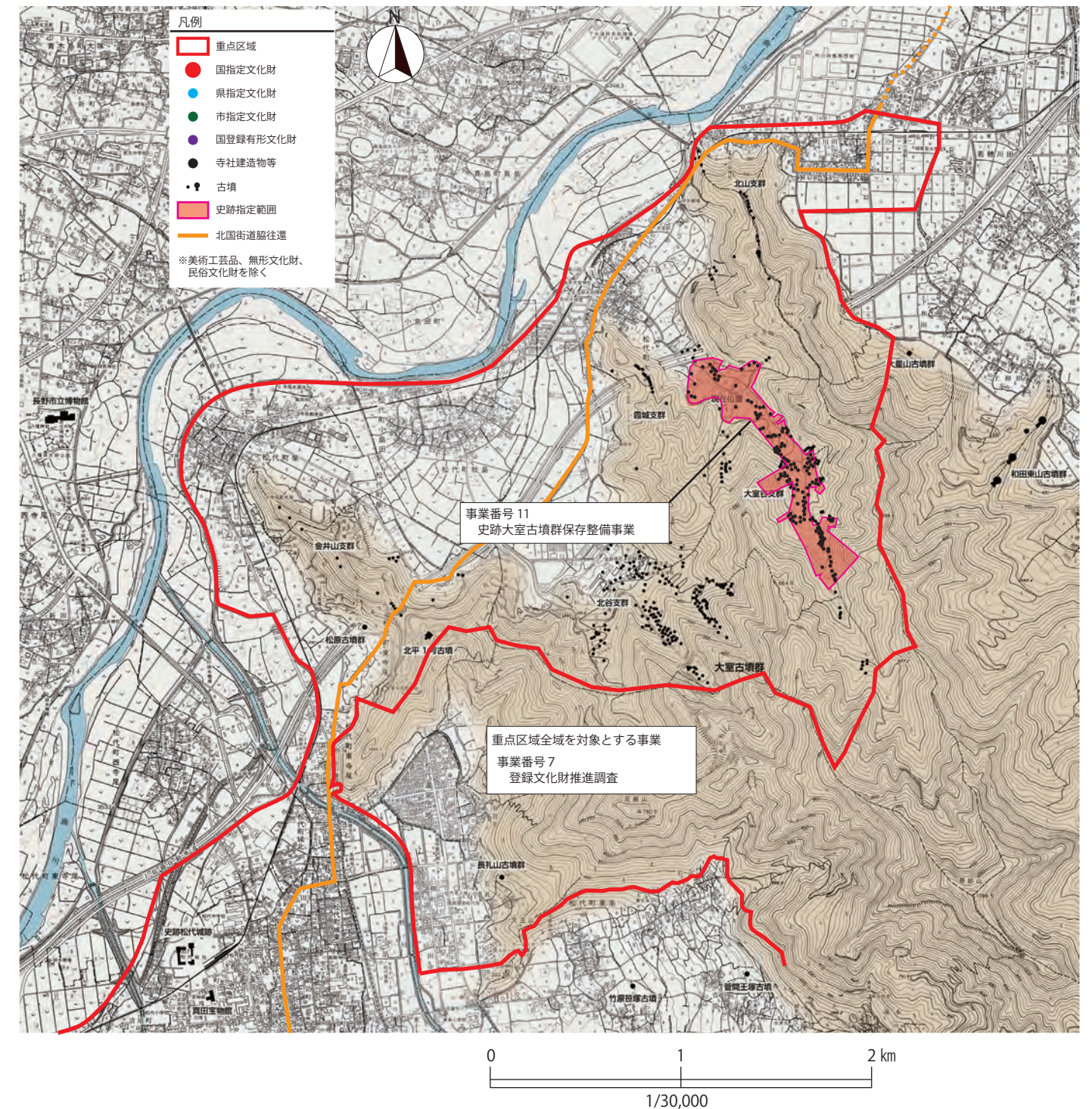


善光寺周辺の事業

歴史的風致の維持向上に資する事業（松代・若穂川田地区）

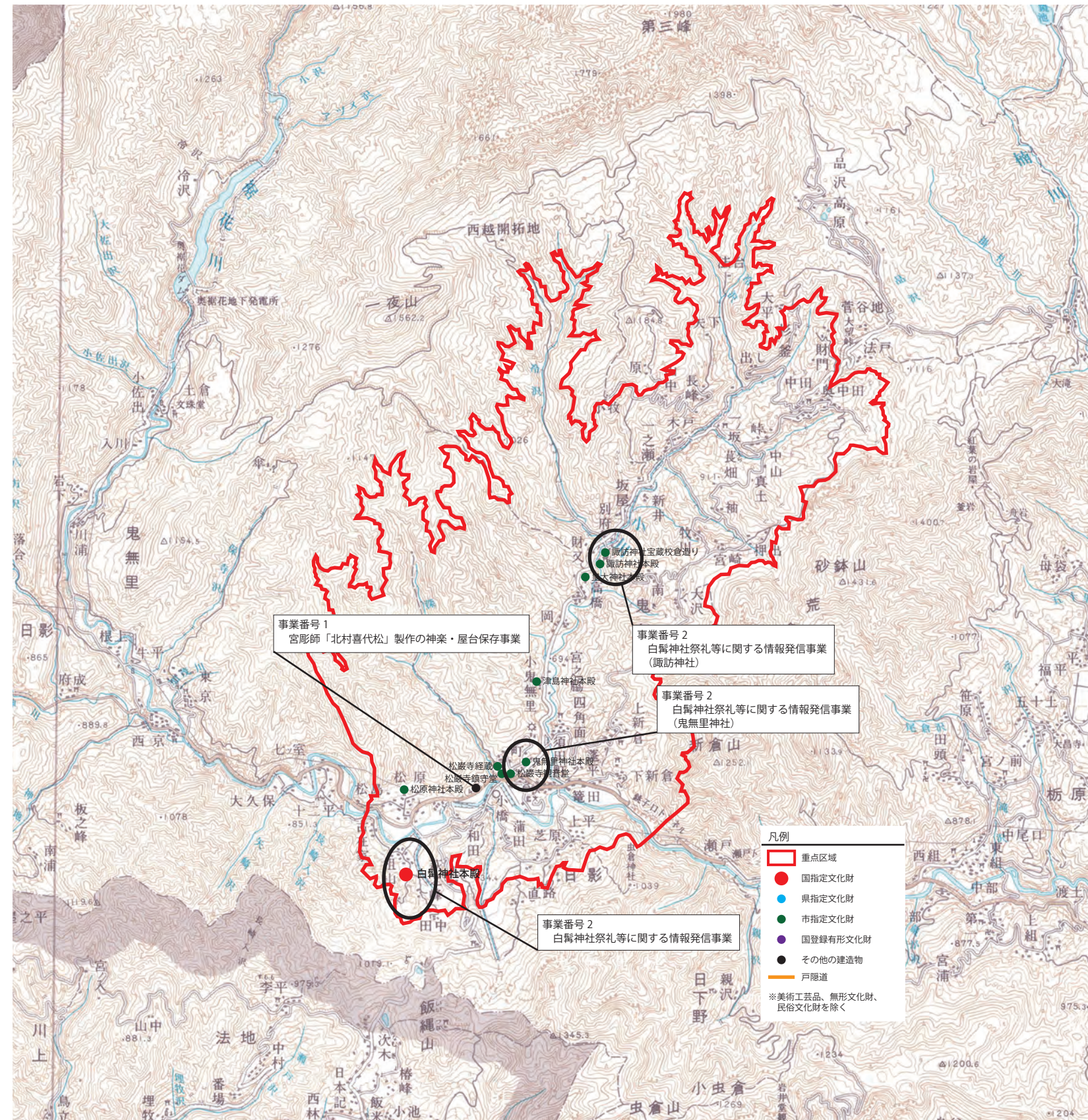


松代中心部周辺の事業



松代大室・若穂川田周辺の事業

歴史的風致の維持向上に資する事業（鬼無里地区）



鬼無里地区の事業